



鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO—175 2025 年 2 月 3 日

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム Email:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿児島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

地域・仲間とつながり、継続して

副代表 上猶 寛

「2025 年は、戦後 80 年。」とよく聞くようになった。新しい年を迎え世の中は、安心して平和に過ごせるようになっていくのだろうか。残念ながら、世界も国内も混沌とした状況になっているように感じる。

世界ではロシアのウクライナ侵攻が、2 月で 3 年目となる。イスラエルのガザ地区攻撃が、ようやく停戦（1 月 19 日）となったが、予断を許さない状況だ。USA では、トランプ大統領就任で、世界のパワーバランスや経済において、今後、日本を含め様々な影響を及ぼすこととなるだろう。国内においても、少数与党となった自公政権が、これまでの強引な政策決定から、野党との調整を図る慎重な政策決定とならざるおえない状況となっている。

そういった中で、わたしたちの反核・護憲平和に関わる運動は多くの課題を抱えている。南西諸島の軍備強化は、沖縄から九州にかけて、強引にそして莫大なお金（税金）をかけて進められている。県内でも、奄美の自衛隊基地増強、馬毛島基地建设をはじめ、さつま町の弾薬庫建設、特定利用空港・港湾指定など地元への丁寧な説明もない。それぞれ課題を抱える地元で基地建设反対の声もあるが、広く大きな動きよりも、「諦め」や地域の分断につながり、声をあげづらい状況になっているように感じる。

今と未来に向けて、わたしたちがどんなビジョンを持って運動を進めていけばよいのだろう。その具体的なヒントは、昨年、



「核兵器のない世界の実現をめざして尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを、目撃証言を通じて、身をもって示した。」という理由から日本被団協（原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞受賞した。戦後 11 年たった 1956 年に設立された被団協とともに、原水禁（原水爆禁止国民会議）も 1965 年に組織され、核廃絶を目指して運動が継続されている。夏に開催される原水禁世界大会は、その運動の広がり、世界との繋がり・世界を変えることにつながっている。つまり、基地など課題を抱える地域だけにその運動を頼ったり、委ねたりするのではなく、わたしたちが、地域と手を結び、継続して広く繋がりを持ってアピールしていくことだと思う。早速、1 月 11 日には、馬毛島基地建设を許さない鹿児島集会&パレードが開催され、多くの仲間が集結した。「微力けれども、無力ではない」あきらめず、継続して仲間とともに運動を進めていきましょう。

馬毛島基地建設を許さない! かがしま集会

1 月 11 日(土) 午後 1 時半から鹿児島市「みなと大通り公園」で開催されました。

主催者の平井一臣さん(鹿児島に米軍はいらない県民会議・議長)は、今朝の新聞を見て『国栄えて、ふるさとの山河なく』と、工事が始まって 2 年が経過するが馬毛島の惨状がわかる。かつて緑に覆われた島は茶色くなっている。ここにきて多くの市民が「こんなはずじゃなかった」と嘆いている。このことを広く県民に訴えて行こうと語られました。



続いて「現地からの報告」として前園美子さん(馬毛島に米軍施設はいらない市民・団体連絡会/副会長)は、工事が始まってからの西之表市および種子島の現状について、島民の生活環境が大きく変わったことを報告されました。1 つに、恒久的に米空母艦載機離着陸訓練(FCLP)が年間 130 日実施、1 日平均 180 回繰り返され、訓練は深夜の 3 時まで行われること。騒音による健康被害、

島民の平穏な生活は根底から壊されることは必至であること。2 つに、昨年 10 月末現在、工事関係者が 4,850 人に達し、住居確保のため「空き家」が無くなり、家賃が高騰、「2K の住宅で 7 万円が 30 万円まで高騰とも」。家賃を払えなくて退去勧告を受けた市民がいること。ホテルや民宿も抑えられ、観光客は宿をとるのが難しいとのこと。市内の「空き地」には仮設宿舍やコンテナハウスが設置され、のどかな種子島の様相は無くなってしまっている。3 つに、治安の悪化も報告されました。前年比に比較して確実に犯罪が増えていること。通学路に大型トラックが往来し、児童・生徒の交通事故への懸念、信号機ごとに誘導員が配置されているが人身事故・物損事故も確実に増加していること。駐車場ではないところに県外ナンバーやレンタカーが置かれていたり、ゴミ処理の問題、携帯電話がつながりにくい、医療体制のひっ迫など基地推進派であった方からも「こんなはずじゃなかった」と不安の声が聞こえてくると。4 つに、漁業権を放棄した海域で漁をしていた関係者は「海上タクシー」や警戒船に乗り、1 日 82,000 円の日当、高額な賃金は「物申さない住民を増やしている」。

最後に、基地建設が進む中で、市民の中にはいくばくかの利益を得る人もいます。当面、同じ働くなら高額な賃金のところに行くし、結果として農業に従事する人、商店街で働く人、介護施設や医療現場で働く人の転職で人手不足が起こっている。防衛省は「地元の理解が一番」というが、市の職員が現地調査を求めたにも関わらず、それすらも叶わなかった。米中関係から台湾有事を煽り、抑止力としての防衛力増強を続ける政府に再考を促す闘いを現地から、そして県内の各地で続けていきたい。

集会の後、参加者 250 人余は『馬毛島基地建設を許さないぞ・米軍の FCLP 訓練を許さないぞ』とシュプレヒコールしながら』いづろ通りから天文館を経て高見馬場までパレードをしました。



1.25 熊毛地区平和学習会 in 西之表

2025 年 1 月 25 日（土）に西之表市民会館ホールで護憲平和フォーラム熊毛ブロックの平和学習会が実施され、約 30 人の参加がありました。



まず初めに熊毛ブロック護憲平和フォーラム代表大石正博が平和学習を通して、戦争のない平和な生活・将来安心して戻ってこれる故郷を守っていきまじょうと挨拶しました。

次に鹿兒島県護憲平和フォーラム事務局長磨島昭広から連帯のあいさつとして県内の情勢をはじめ、我々国民の税金が国民の為に使われない矛盾について、一致団結して抗議していく必要性が伝えられました。

最後に各地からのを受けました。馬毛島への米軍施設に反対する市民団体連絡会・山内光典代表からは馬毛島工事に係る現在の状況について報告があり、戦争につながる基地建設に反対していく意思を強く報告していただきました。次に北薩護憲平和フォーラム事務局次長武さとみさんからはさつま町で進んでいる弾薬庫施設建設に係る状況について報告がありました。町当局をはじめ町議からの説明責任のないことについて、町民をないがしろにしないよう取組を強化していくとの報告がありました。奄美ブロック護憲平和フォーラム・関誠之代表からは、奄美大島で行われている駐屯地施設の整備に関する報告が行われました。

「軍隊は我々を守ってくれない。我々の平和を守るため、戦争を起こさない取組を図っていく。」との心強い発言を頂きました。

今回の平和学習を通して県内の厳しい状況を知ることが出来ました。そのうえで我々の平和を守るための必要性を学ぶことが出来ました。

平和集会終了後、西之表市内でスタンディング活動を行いました。住民に向け、自分たちの平和を守るため、取組む必要性を訴え続けました。



『さつま町に弾薬庫はいらない！』毎月のスタンディング行動で訴え《北薩ブロック》



1 月 25 日（日）建設予定候補地となっている中岳麓の国道 504 号沿いで行いました。2023 年 12 月防衛省が、「さつま町に弾薬庫整備検討」の報道以後、昨年 1 月から数度の学習会を行い、5 月から毎月 1 回実施してきて、今回で 10 回目となりました（5 月は 2 回）。この間、地元の「考える会」の方々を中心に、北薩ブロック平和運動センター傘下の近隣市町の仲間や各ブロックからも参加

をいただきながら、通行される町民の方々に「弾薬庫はいらない！」の声をアピールしてきています。特に今回は、防衛省がさつま町の中岳周辺に弾薬庫整備を正式決定し、来年度予算に設計費 2 億円を計上したことが明らかになって最初の行動でもありました。2026 年 3 月まで予定の適地調査が終わっていないにも関わらず、調査途中段階での整備可能の結論に怒りを込めてのスタンディング行動でもありました。施設誘致の推進派の方々は、「疲弊している町の活性化」となるとしています。しかし有事を想定しての弾薬庫建設は、それこそあってはならないが有事の際の町民や周辺の方々の犠牲を考えると許すことはできません。私たちは、今後も建設の白紙撤回を目指して、また南西諸島の軍事増強を許さない思いを込めて、多くの仲間のみなさんととりくみを強化していこうと考えています。

日置市で「新春団結交流集会」開催《鹿児島ブロック》

1 月 25 日（土）11 時から日置地区教育会館に於いて第 1 部「琉球弧を戦場にするな（最新ドキュメンタリー映画）の上映会」を、続いて十八番館にて「団結交流集会」を久しぶりに開催しました。県護憲（下馬場代表）、連合鹿地協（喜入事務局長）、立憲民主党（野間県連幹事長）、社民党（大森県連副代表）の皆様からご挨拶をいただき、日置地区・石神高退協会長の音頭で乾杯。坂口洋之日置市議と吉留良三いちき串木野市議から市議選へ向けた決意表明を受け



けました。全参加団体の皆さまに壇上に順次登壇いただき、それぞれあいさつをいただきました。また、全ての参加者に漏れなく景品の出るビンゴゲームで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。最後に、鹿地区高退協・中島会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、来るべき参議院選挙そして 5 月の日置市議選、11 月のいちき串木野市議選に全力をあげて取り組むことを確認し合いました。（当日の参加者 65 名）

2・11 紀元節復活反対集会 2 月 11 日（火）10 時～ よかセンター 8F（鹿児島中央駅前）
講演：トランプ就任で世界は？日本は？ 講師：出水 薫 九州大学教授